



第 2 3 号  
平成 31 年 3 月 12 日  
岩手県長寿社会課

高齢者の生きがづくり、社会貢献活動をサポートします！

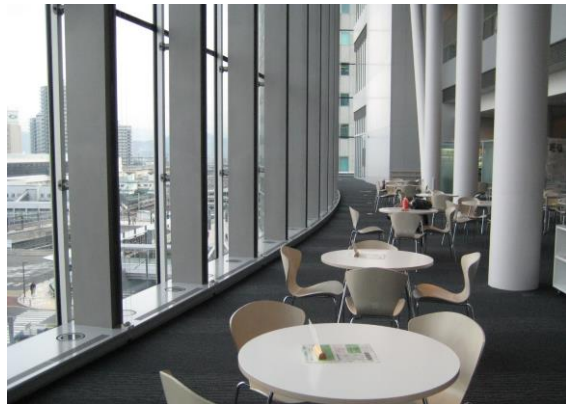
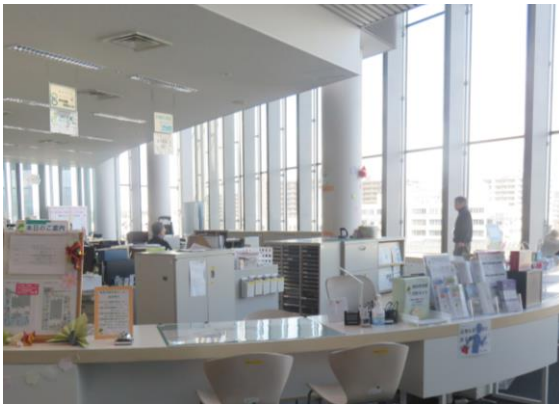
## 岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター ～愛称が決まりました～ の巻

以前と比べて高齢者の体力的年齢が若くなっていると言われる中、高齢者の皆さんには、これまで培ってきた豊かな経験や知識・技能を生かし、地域社会の担い手や支え手として活躍していただくことが期待されています。

「岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター」では、高齢者の皆さんの**生きがづくり**と**社会貢献活動を促進**するため、各種事業を実施しています。今回は、その**事業内容**や、2018 年に行った**愛称公募の結果**などをお伝えします。

### 「岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター」とは

「**岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター**」（以下、「サポートセンター」と表記。）は、高齢者の**生きがづくり**と**社会貢献活動の促進**のために県が設置した機関であり、**高齢者の活動支援や情報発信の拠点**として各種事業を実施しています。



●設置場所

盛岡駅西口「いわて県民情報交流センター（アイーナ）」6階  
高齢者活動交流プラザ内に設置

●開館日時

平日・土日・祝日の9時～16時（年末年始とアイーナ休館日を除く。）

●ホームページ

<http://www.aiina.jp/advancedage/index.html>

### 主な事業内容

サポートセンターは、主に①情報発信、②相談窓口の設置、③助成金の申請等に関する支援、④学習会・セミナーの開催などにより、高齢者の皆さんの活動を支援しています。

## ① 情報発信

県内で活躍されているシニアの方個人や団体の活動紹介、各種事業のお知らせなど、高齢者の皆さんの社会貢献活動や生きがいづくりに関する情報を掲載する**シニアの社会参加情報誌「かだる」**を年2回発行しています。

社会福祉協議会、老人クラブ連合会、公民館、図書館等に配付しているほか、サポートセンターのホームページやアイーナ6階の情報コーナーでもご覧いただけます。

また、サポートセンターでは、ホームページ、ブログでも随時、様々な情報を提供しています。

**かだる** シニアの社会参加情報誌 Vol.35

編集・発行 岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター  
〒020-0045 盛岡市盛岡駅前西通1  
TEL 019-606-1774 FAX  
ホームページ http://www.a-link.jp  
発行日 平成30年7月20日

※「かだる」という言葉は、岩手県の方で「参加する」「集う」「加わる」などを意味します。

**「健康」「福祉」活動を通じて、まちづくりを応援した**  
大光 ティ子さん (洋野町) 66歳

今年4月、福祉関係の仲間とともにNPO法人エンバメント輝きを設立した洋野町の大光ティ子さん。保健師の資格を生かし、ひきこもりの人や認知症の人のほか、生活困窮者、障がい者、公的支援のはざまにいる人など、幅広い分野の支援に対応し、地域福祉の向上を目指し活動しています。

同法人は、保健師、看護師、栄養士など福祉関係の有志11名体制。会員の半数は定年退職者で、現役時代に培った知識や経験のほか、幅広い人脈などを地域の支援につなげています。「発達障害や病気など、医療や福祉の視点での見極めが必要で、そのためには経験や知識が必要となります」と語る大光さん。町からは業務の委託を受け、ひきこもりの人への戸別訪問のほか、サロンを通じた介護予防講座なども開催し、町と連携した「健康」「福

出身は軽米町。昭和49年に旧盛岡市役所へ

高齢者活動交流プラザ内(アイーナ6階)  
岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター(コ-サポいわて)

〒020-0045 盛岡市盛岡駅前  
TEL 019-606-1774 FAX 019-606-1775

高齢者の社会参加、生きがいづくりを支援、サポート

- ホーム
- 概要
- 助成金
- 活動団体の紹介
- 情報誌
- イベント等のご案内
- ブログ
- リンク
- お問い合わせ

高齢者サポートセンターは次のような高齢者の気持ちを大切にしています。

- ◆ 年は重ねたが気持ちは若い
- ◆ 体は鈍くなったが、知恵はある
- ◆ 職場との繋がりが地域との繋がりに
- ◆ 今からでも遅くない「始める」、「創める」姿勢で望む
- ◆ この年になって初めてわかる「楽しみ」、「愉しみ」を活かす

ご利用時間 9:00~16:00まで。土日も対応いたします。(ただし、年末年始とアイーナ休館日を)

## ② 相談窓口の設置

相談員が、**活動団体や活動の場に関する情報を提供しているほか、団体運営・活動資金に関する相談など**にに応じています。

### サポートセンタースタッフのコメント

寄せられる相談としては、県内で活動されている**団体についての問合せや助成金の相談、情報提供**などがあります。特に、当センターが受付窓口となっている「ご近所支え合い活動助成金」に関する相談が多く、書類の書き方や、事業計画、予算の立て方などについて、分かりやすく丁寧な対応に努めています。インターネットを見る機会がない方には、FAX や郵送で資料をお送りするなど、相談者の状況に応じて柔軟に対応しています。

また、最近では**市町村からの問合せ**も増えています。主な内容としては、**高齢者の仲間づくり、支え合い活動について**であり、定年退職後に地域で活動する高齢者の紹介や、どのように活動団体を運営していくのかなどの相談に対応しています。地域の担い手として元気な高齢者に対する期待が高まっていることを感じます。

### ③ 助成金の申請等に関する支援

「ご近所支え合い活動助成金」等の**助成金に関する情報提供や申請手続きの支援**を行っており、**地域相談説明会**を毎年行っています。平成 30 年度は、盛岡市、久慈市、釜石市、二戸市、大船渡市、奥州市で実施しました。

「ご近所支え合い活動助成金」は、県民による「共に助け合い支え合う活動」を支援することにより、安心して暮らし続けることができる地域社会を実現するため、「いわて保健福祉基金」に特別に設けられている助成枠であり、県民の地域社会に貢献する活動を支援しています。



### ④ 学習会・セミナーの開催

活動事例の紹介や活動団体間の意見交換等を目的とした「**アクティブ・シニア学習会**」や、第二の人生での生きがいづくり等に向けた「**いきいきシニアセミナー**」を開催しています。平成 30 年度は、アクティブ・シニア学習会を奥州市で、いきいきシニアセミナーを盛岡市で開催しました。

アクティブ・シニア学習会では、各地域の活動団体による事例発表や公演が行われたほか、参加者同士の交流会やディスカッションが行われました。

いきいきシニアセミナーでは、「ポジティブに年を重ねよう～芸術文化とダンスで身も心も若々しく～」と題して、柴田和子さん（岩手県芸術文化協会会長）から自身が長年携わってきた芸術文化活動、高齢期を迎えて感じることや生き生きと過ごす秘訣などについてお話を伺いました。



## 高齢者による社会貢献活動

県内では、様々な分野で高齢者団体が活動しています。

### 活動の例

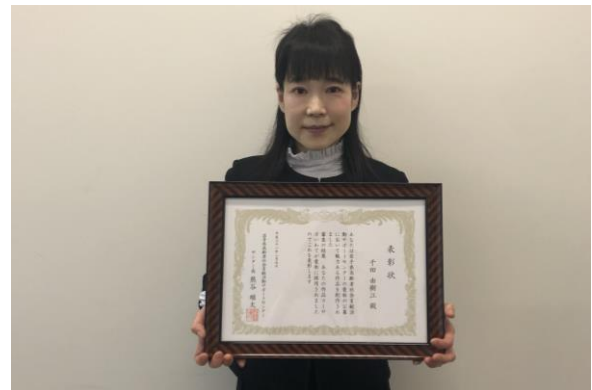
- 農作業を通じた世代間交流
- 認知症カフェの開催
- 高齢者の閉じこもり防止に向けたサロンの開催
- 高齢者施設への訪問活動（マジック、楽器演奏、ダンス等の披露など）
- 高齢者の経験を次の世代に伝える伝承活動
- 保健師や看護師のOBによるサークル活動（健康教室の開催など）

など

## サポートセンターの愛称が決まりました！

平成 30 年 3 月に行われたセンターの運営協議会において、センター活動のさらなる周知・啓発を図るため、愛称を付与してはどうかとの意見が出されました。これを受けて、平成 30 年 8 月～10 月にかけて**愛称の公募**を行いました。

県内外から計 255 点の応募があり、選考の結果、**センターの目的、活動内容を連想しやすく、簡潔で親しみやすい**ことから、「**コーサポいわて**（読み：こーさぽいわて）」を愛称として決定しました。応募者は、**千田 由樹江さん（岩手県盛岡市）**です。平成 31 年 2 月 5 日（火）、千田さんに表彰状と記念品の贈呈が行われました。



### 千田 由樹江さんのコメント

「センターの名前は長く、どうしてもお堅いイメージがあったため、印象がやわらかく、軽くなるようなものにしたいと思いました。今後、センターがますます多くの人に親しまれることにつながればいいと思います。」

## ～編集後記～

「ちいきで包む第23号」をご覧いただきありがとうございます。今回はサポートセンターの事業内容やイベントの様子をご紹介しました。今回、愛称に決まった「コーサポいわて」については、サポートセンターのホームページや各種印刷物に掲載し、幅広い世代の方々に親しんでいただけるよう周知していきたいと思えます。

少子・高齢化の進展に伴って、現役世代のみならず、元気な高齢者も社会を支える側に立つことが期待される現状にあって、高齢者の社会貢献活動への参加を促進することは、地域におけるインフォーマルサービスの充実とともに、高齢者の生きがいづくりにも繋がるものであると考えます。

今回の取材を通じて、市町村による相談窓口の利用が増えているというお話を伺い、高齢者が地域の担い手として参画しやすくなる仕組みづくりのためにも、高齢者のみならず、市町村をはじめとして様々な機関・団体による利用が広がっていくことが期待されると思いました。また、インターネットを見る機会がない高齢者のためにFAXや郵送等でも相談対応しているというお話を伺い、今後は、意欲や能力がありながら、活動の場や活動に関する情報に接する機会が少ない高齢者の方々の社会参加を促すための仕組みづくりがますます求められると感じました（ひ）。

## がんばる地域の情報、大募集！

「ちいきで包む」編集部では、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域ぐるみで高齢者を支える特色ある取組などを募集しています。下記まで情報をお寄せください。

「ちいきで包む」は、岩手県内市町村の地域包括ケアシステム構築をアシストするため、各地の特色ある取組や、関係する情報を発信する情報紙です。

企画・発行（問合せ先）

岩手県保健福祉部長寿社会課（本号担当：菊池・加藤） 平成31年3月12日発行

TEL:019-629-5436 FAX:019-629-5439 E-mail:AD0005@pref.iwate.jp